

2024年4月4日

国立大学法人金沢大学
人事労務課長 西口 明宏 様
入試課長 堀井 孝一 様

金沢大学教職員組合
執行委員長 早津 裕貴

入試委員等の通勤手段に関する要求

2024/2/9 付けで、前期日程入試の入試委員の通勤手段に関して配慮をお願いし、一定の対応をいただいたところですが、以下の通り、入試日前後及び当日の混乱について報告すると共に、次年度以降は入試業務が円滑に行われるよう改めて配慮を求めます。入試業務であることに鑑み、個人の努力のみに依らず、大学による積極的な対応が必要であると考えます。よろしくお取り計らいくださるようお願いいたします。

記

1. 北陸鉄道に対して、バスの適切な運行を求めること。

入試当日は以下の状況が発生しており、北陸鉄道に現状確認及び改善を申し入れる必要があると考えます。

- ・バス停で臨時バスを待っていたが、バスが当該バス停に停車せず(通過した)乗車できなかったため、集合時刻に大幅に遅刻した。
- ・バス停で臨時バスを待っていたが、バスが当該バス停に停車せず(通過した)乗車できなかったため、集合時刻に遅刻しそうになったが、奇跡的に通りかかったタクシーに乗車し事なきを得た。
- ・臨時バスを待っていたが当該バス停にバスが来なかったため、集合時刻に遅刻しそうになったが、奇跡的に通りかかったタクシーに乗車し事なきを得た。

2. タクシーの予約が難しい可能性があることを早めに案内すること。

入試直前の会議で、集合時刻が提示され、(希望者に対して)タクシーチケット

トが配布されますが、その時点ではタクシーを予約することは極めて難しい状況でした。1月末の時点でも予約できないケースが発生していました。

一定数の受験生がタクシーを利用することに加えて、近年のタクシー不足(乗務員不足)が背景としてあります。

共通テスト前後の早い段階で、集合時刻を提示し、タクシー不足の状況についてもアナウンスすることにより、まず入試委員個人レベルの対応を促すことが必要ではないかと考えます。

3. 入試業務のため、急遽タクシーを使った場合の私金立替は、最低限の書類で速やかに認めること。また、タクシー使用の私金立替の情報を入試説明会等で周知すること。

不測の事態の対応として急遽タクシーを利用する場合も想定して、私金立替を円滑に出来るようにする必要があると考えます。

4. ゲストハウスの案内には連絡先を記載すること。

入試課からゲストハウスの利用が可能であるとの情報提供がありましたが、ゲストハウスのURLが添えられているのみであり、しかも利用可能状況は「満室」と表示されていました。部局の入試係を通じて予約出来ましたが、「満室」の表示を見て諦めたケースもあったようです。ゲストハウスの案内には、担当係の連絡先を記載すべきであると考えます。

5. 金沢駅や香林坊から大学のバスを出すか特別のバスをチャーターすること。

北陸鉄道の臨時バスの運行が改善されない場合は、別途、大学独自の対応が必要であると考えます。

6. 入試業務で、ゲストハウスに宿泊の際、出張時に前泊する場合の対応と同様、日当等の手当を支払うこと。また、前泊日が休日の場合、振替休日を認めること。

以上